



並行世界にいる  
女の自分と入れ替わって、  
同じになつて

R-18

中学校帰り……

一人の黒髪褐色肌の美少年が、部屋にと帰ってきた。  
荷物を置く『ボク』は八重歯が特徴的で、可愛らしい、  
一見すれば女の子に見えてしまふような小柄な風貌をしている。  
猫目の『ボク』は、部屋へ帰ってくる荷物を置きベッドへと寝転んだ。

んはあ♡

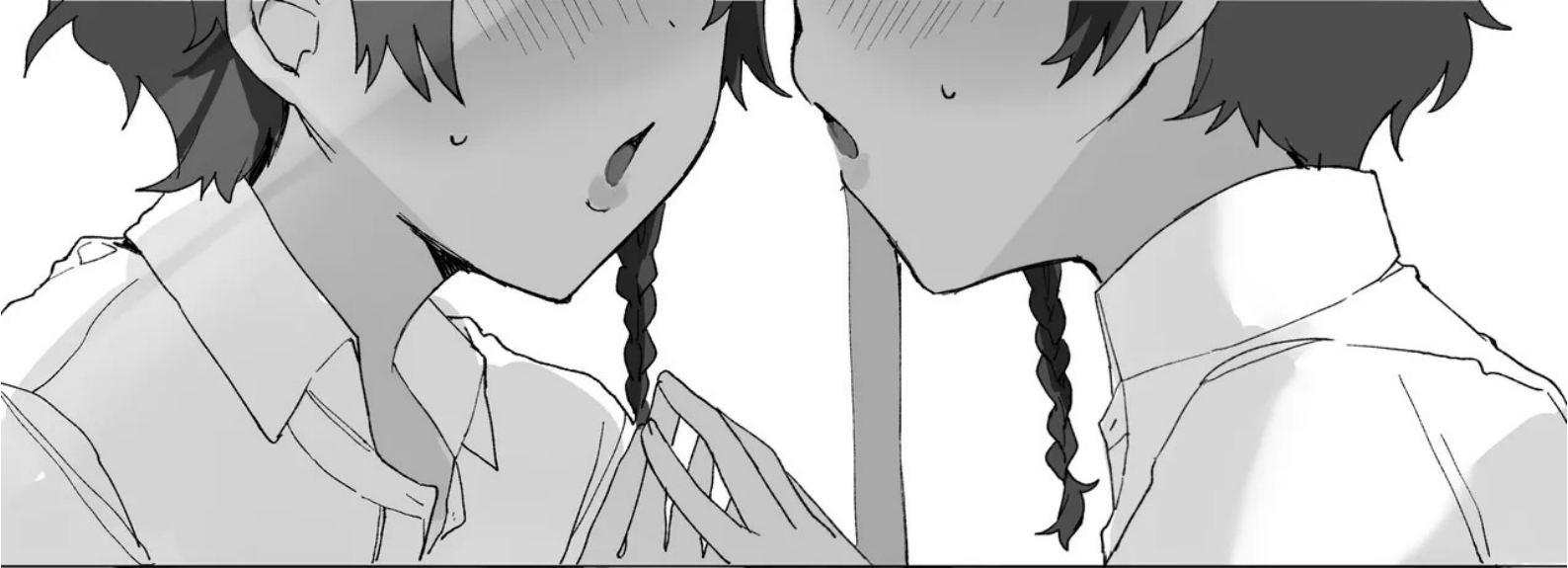
か、可愛い♡ボク……♡  
オナニーしてるボク可愛いよお♡

あぁ、

可愛い♡ボク……♡

♡あ、♡  
♡♡♡

そして、いつもの習慣である自慰行為を始めるのだった。  
ズボンを脱ぎ、そして等身大鏡を見ながら、片膝をついた状態……  
興奮した表情で、勃起した男性器を抜き出す。  
惚けた表情を浮かべる『ボク』は、一瞬鏡に映る自分自身を自慰のネタにしながら男性器を片手で扱っていく。



可愛らしい顔に、柔らかそうな身体、  
胸が小さな女と言っても差し替えないような綺麗な身体、  
その顔が快樂に歪み、口の端から唾液を零す  
卑しい表情を浮かべている様を見て、  
いつものギャップから余計興奮の度合いが高まる『ボク』。  
そのまま男性器を握りながら、扱き上げ、  
鏡越しに自分とキスをする。目を見開きながら、  
自分自身とキスをするという倒錯的な行為に、  
身体は耐えられず、精液を鏡の中の自分にとぶちまけた。

絶頂により、精液をぶちまけたまま、いつものように、頭が真っ白になった感覚から意識を取り戻す。大きく息を吐く『ボク』は、鏡を見た。すると、そこには、いつもの自分の顔があったのだが、なんと、その胸は大きく膨らんでおり、バレーボール大の大ききの胸が存在をしていた。そして、驚きながら、下半身を見れば、そこにはいつも存在している男性器がなく、逆に女性器・陰核が存在をしているのであった。秘所からは愛液が垂れている。

う、嘘!?  
ボク女の子になってる!?

チンチンなくなっておっぱいにマンコがあるなんて……

うっ……

でも……

女の子のボクも可愛い……♡

鏡を前にして、先ほどは男性での自慰をしていたが、  
今度は女性としての自慰を始める。既に全裸姿であった『ボク』は、  
豊満な胸を片手で揉みながら、もう片方の手で女性器へと指を挿入する。  
膣内で指を締め付けながら、身体が浮きそうになるほどの刺激を受ける。  
口を開けて、舌が飛び出しながら、涎を垂らし、  
異性の身体の刺激は、『ボク』にとっては新鮮そのもので、  
今まで感じたことがない刺激に、頭が真っ白になる。



等身大鏡を前に、『ボク』は、男性の時同様、鏡越しに自分にキスをしようとして、鏡に身体を押し付ける。豊満な胸が鏡越しに潰れ合い、乳首が潰れる。敏感な刺激に、悶えながら、眼の前で喘ぐ女になった『ボク』へと舌を伸ばして口づけをする。

ハニシコイコイ

ハニシコイコイ  
ハニシコイコイ

ハニシコイ

ハニシコイ  
ハニシコイ

ハニシコイコイ  
ハニシコイコイ

それと同時に、秘所に挿入されていた指を勢いよく挿入をして、陰核をもう片手で摘まんで刺激を与えた。それは、女であっても凄まじい快楽を与えるものであって、先ほどまで男性であった『ボク』には刺激が強すぎた。絶頂をして膣内で指を痛いくらい締め付けながら達し、そして陰核への刺激で達し……絶頂が絶頂を呼び、止まらない。

頭が真っ白になる……  
女の快樂は男よりも強く、  
そして男性と違い何度も無理矢理絶頂へ押し上げられる刺激であった。  
絶頂の余韻に浸る『ボク』の脳裏に流れ込んでくるのは、  
女子として学校に通う『アタシ』の姿。  
それは『ボク』が学校に通っている時と何も変わらない。  
ただ『ボク』の性別が違うだけで、家に帰っては  
今みたいに鏡を見ながらのナルシストオナニーをしている。  
それが当たり前で……あれ？『ボク』は、『アタシ』だったっけ？

はま……はま……  
アタシ……  
すごい  
気持ち  
よかったあ……

ボ

……？  
あ、アタシ？  
違う、ボクは  
可愛い男の子で、  
でも、さっきまで  
女の子で……

ボク!?

改めて鏡を見ると、そこには男の自分……  
いつもの自分がそこにはいた。  
だが、そこに映っているのは、  
男の自分だけじゃなかった。

アタシ!?

向かい合わせになる二人。  
顔は瓜二つの『ボク』と『アタシ』。  
顔も髪型も同じなのに、その身体は違っている。  
薄い胸板と豊満な胸。そして生えている男性器、  
辜丸と、凹んだ女性器、陰核……。  
自分が持つていないものを持つている相手。  
だが、先ほどその身体を経験した『ボク』は、  
『アタシ』の身体に興味津々であった。  
元々、ナルシストであった『ボク』。  
それは『アタシ』も自分である以上一緒であり、  
眼の前にいる自分自身に興奮しないはずがなかった。  
二人は、お互いを見ながら、興奮した表情を見せる。

ふーん……  
女の子でも  
同じボクなら  
今の気持ち  
わかるよね？

……  
そっちこそ  
アタシの身体で  
オナつてたんだから、  
わかるんじゃない？  
変態

ボクの身体で  
オナつてた君に  
言われたく  
ないんだけど??  
変態

キラ

キラ♡

キラ♡

キラ♡

はー♡

あ、アタシの童貞…  
アタシが  
奪っちゃったあっ…♡♡

はー♡

すいり

はー♡

ぼ、ボクの処女…  
ボクが  
奪っちゃったあ…♡♡

はー♡

二人は、正面から抱きしめ合う形で『ボク』の男性器を『アタシ』の女性器へと挿入をしていく。既に『ボク』の男性器は痛いくらい勃起していて、『アタシ』の秘所はドロドロに濡れていた。童貞の『ボク』には、処女の『アタシ』の締め付けが強く、処女の『アタシ』には童貞の『ボク』の男性器が大きすぎた。でもナルシストで自分大好き、自分とセックスをするという倒錯的な行為を前に、二人は、興奮を止められず、密着する。処女と童貞を交換した刺激を受けながら互いを抱きしめ、同じ顔で舌を絡ませる。

しゅ♡♡

ん♡

ん♡

げん♡

しゅ♡

は、

ん♡

は、

げん♡

ん♡

は、

激しく舌を絡ませながら、  
徐々に挿入されていた腰が激しく動き始める。  
流れ出ていた血も溢れ出る愛液で流されていき、  
そして二人は痛いぐらいの締め付けや、  
大きすぎる男性器により犯される痛みから、  
疼く子宮、扱かれる刺激、そちらの快楽が大きくなっていく。  
二人は互いの背中に腕を回してより一層身体を密着させる。  
まるで同じ体の一つに戻すかのように……。  
同じ褐色肌が吸い付く中で、ピストン運動するが、  
処女と童貞であった二人が長く耐えられるわけもなく、  
一番強く腰を打ち付けると絶頂と射精を迎える。



あああ♡  
イグ♡イグイグ♡♡  
自分とのセックスで♡

イグイグイグ…♡♡♡

イグイグ♡♡

イグ♡

イグ♡

イグ♡

イグ♡

イグ♡

イグ♡

イグ♡

身体を震わせる二人。あまりの刺激に、二人は身体を抱きしめ合ったまま、顔を押し付け合った状態で、身体を震わせている。挿入された女性器からは、あふれ出した精液と愛液が混じり合った液体が流れ出しており、密着した身体は流れ出た汗が絡まり合っている。大きく熱い気を互いの顔に掛け合う『ボク』と『アタシ』  
初めての性交の余韻に浸りながら、ようやく落ち着きを取り戻し始めていたのだが、二人は違和感を覚える。それは、『ボク』にないものの感覚と『アタシ』にないものの感覚であった。

え、な、なんでボク  
あ、アタシの身体になつて……  
ひゃんっ！♡  
ボクの子ンコ♡  
動かさないでえ♡♡

は、  
は、  
は、

あ、あれ、なんで  
アタシの身体が  
ボクになつてるの…!?  
んぎいっ♡♡  
し、締め付けちゃ駄目え♡♡

同時絶頂と射精で入れ替わってしまった身体。  
『ボク』と『アタシ』は、それぞれの身体で自慰をしており、その感覚を知っていた。  
そして、未だに挿入されている先ほどまで自分が犯されていたもの、  
自分を犯していたものを、自分が使ってもう一人の自分を犯す。  
入れ替わった二人は、再度腰を動かして、さっきまでの自分を犯し始める。  
そして、先ほどは処女と童貞だった二人は、経験を得て、よりいやらしく、  
より淫らに互いを犯し始める。  
それは二人をより一層狂わせることになる。

さっきはアタシ犯されてたのに♡  
今度は犯してる…♡♡  
アタシを…ぼ、ボクが…♡♡

ぼ、ボクが犯してたのに♡♡  
今度は犯されてる…♡  
ボクがっ♡  
ア、アタシにっ…♡♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡



身体だけでなく精神まで混ざり合う。

自分が『アタシ』なのか『ボク』なのかわからなくなる中で、ただひたすら肉欲に流されるまま、腰を振り、男性器を締め付け、膣内を犯す行為を行う二人。一人の下半身の動きはより激しく、より強くなっていく。そのたびに二人は口を開けて、激しく喘ぐ。ただ目の前の自分を犯す。『ボク』が『アタシ』を『アタシ』が『ボク』を犯す。自分がどっちかわからなくなっていく。ただ、気持ちいい……もっともっと目の前の自分を犯したい、滅茶苦茶になりたい。二人は、先ほどの自分たち同様、再度、唇を押し重ねた。

ぼ、ボク♡  
ア、アタシ♡

あ、アタシ♡  
ぼ、ボク♡

おん、おん、

おん、おん、

おん、おん、

おん、おん、

再度絶頂。女性で感じる男性の中出しされる感覚、男性で感じる中出しする感覚。さつき自分がやったことを味合わされる。しかも、相手は自分自身であるが故、余計に興奮してしまう。自分に中出しをして、中出しをしてしまった。頭の中がより混じり合う、自分が『ボク』なのか『アタシ』なのか、もう区別がつかない。どっちの記憶もあるし、どっちの思い出もある。区別がつかなくなる中で、ただ今感じ取れるのは、快樂だけ。同じ顔を見ながら、二人は再度身体を重ねようとする。だが、次に襲い掛かったのは、二人が今まで感じたことがない豊満な胸同士の重なり合いだった。

ボク…  
きもちよかったよ…♡  
アタシい？

はー♡  
アタシも…♡  
き、気持ちよかったあ  
ボク？

あ、あれ？  
ぼ、ボクの胸になんで  
アタシのおっぱいがあるの？

二人は、お互いの身体を再度確認する。二人は目を見開き驚きの表情を見せる。二人の身体には同じものが付いていた。豊満な胸、そして、それだけではない。さんざん『アタシ』の中に中出しをした男性器、そして睾丸も二人同じものがついている。さらには、その男性器の下には、しっかりと愛液と精液を垂れ流す女性器がついていたのである。犯し合い入れ替わるごとに、二人の精神が混ざり合うだけでなく、身体境界線さえあやふやになってしまったようだ。二人は見つめ合いながら、互いの身体を密着させる。

ボクとアタシ、  
どっちも同じに  
なっちゃったね？

ゼン…

ゼン…

これで本当に  
アタシもボクも一緒…  
自分同士ってこと♡

なら…  
自分同士でもっと  
ぐちゃぐちゃに  
混ぜようよ♡♡

んちゅんちゅん

まったく同じ顔の二人は、再度舌を絡めるキスをしながら、胸同士、乳首同士を押し付け合い、空いている手で、同じ大きさ・形・太さ・匂いの男性器を裏筋で重ね合わせ、睾丸同士を押し付け合いながら互いの手で二つの男性器を掴み擦り上げる。

んんっ♡…あは♡  
ああ、自分同士で♡  
と、蕩けちゃう♡

んんっ♡  
はあ♡はあ♡  
じ、自分と自分で  
ぐちゃぐちゃになるっ♡♡

二人の同じ手で無理矢理押し重ねられた男性器は擦り合わさり、それだけですぐに達してしまいそうになる。そしてもう片方の手は、相手の女性器へと挿入をして掻き混ぜる。キス・乳合わせ・手コキ・手マン……  
まったく同じ自分同士で行われる行為は、二人を快楽へと突き落とす。

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

あせっ♡





二人の腰をぶつけ合い相互挿入は、普段では味わえない男性と女性双方の刺激を同時に与えることとなり、その刺激は、二人の理性をあつという間に溶かし、そしてあつという間に絶頂と射精へと導く。大量の精液を互いの膣内へと放ちながら、絶叫する。射精と絶頂は、先ほどまでの比ではなく、大量の精液を流し込んでいく。

も、もう無理い！♡  
イク♡イク♡♡

は、あ、

あ、  
どめられないっ♡

来る♡♡  
来ちゃっ♡♡

あ、

ぐ♡

いぎ♡♡

あああ

び♡

あ、

ぐ♡





ほとんど動物のように犯し合う二人。全身を抱きしめ合いながら、そのまま腰を勢いよく打ち付け合う。二人の顔は既にアへ顔寸前まで蕩けており、その勢いのまま、二人は再度相互挿入をしたまま、再度互いの膣内へと向けて中出しをする。もう何度も出しているのではないかというのに、まったく濃さは変わらず、逆に量も濃さも増えているのではないかと思われるほどの射精。



びっ、びっ

どっ、ちゃいっ

どっ、ちゃいっ

どっ、ちゃいっ

びっ、びっ

びっ、びっ

びっ、びっ

あ、あ

びっ、びっ



再度の絶頂の中でも、相互挿入は終わらず、二人は互いの顔を両手で掴んで無理矢理引き寄せて唇を重ね合わせる。目を見開いた状態で、キスに没頭をしながら、腰を振り合う。同じ速度同じ強さ同じタイミングで突き上げるにより、自分同士よりシンクロをした犯し合いになる。二人の秘所からはもう何度も放った精液と愛液が溢れる中で、胸同士を押し付け合いながら相互挿入に没頭をする

あむ

んんん

んんん

んんん

あ

んんん

んんん



纏れ合ったまま、失神する二人。身体を痙攣させながら、ようやく女性器から抜けた男性器。その男性器と女性器からドロドロと精液と愛液が混じり合った体液が噴き出しながら、身体を震わせ、絶頂と射精状態が継続した状態となっている、完全なアへ顔を晒し合う二人の顔はまったく一緒であり、どちらが『ボク』だったかどちらが『アタシ』だったのか、第三者はともかく本人たちでさえも混じり合った二人は、記憶も性格も身体さえも混じり合ってしまった二人は、意識を失っても尚、射精と絶頂が止まらなくなっていました。



一週間後……。『ボク』と『アタシ』の世界は融合をできてしま、あれから、二人は一緒に生活をしている。身体もあのまま、両性具有の男性とも女性ともいえない体になってしまった。女でありながら男性器のある生活、男でありながら胸や女性器のある生活、記憶や精神も混ざったことで、どっちも違和感を覚えてしまいつつ……。二人の生活は変わらない。ただ少し変わったというのであれば、学校から帰ってきたら二人で、全裸姿になり、自慰行為をする代わりに……。二人で相互挿入でエッチをするようになったということだった。

気持ちいい♡  
自分同士で犯し合うの  
気持ちいい♡♡♡  
好き♡♡♡  
好き♡♡♡♡♡

もっともっと♡  
腰振ってえ抱きしめてえ♡  
自分同士で犯し合うのお！♡  
好き♡好き♡♡♡♡♡

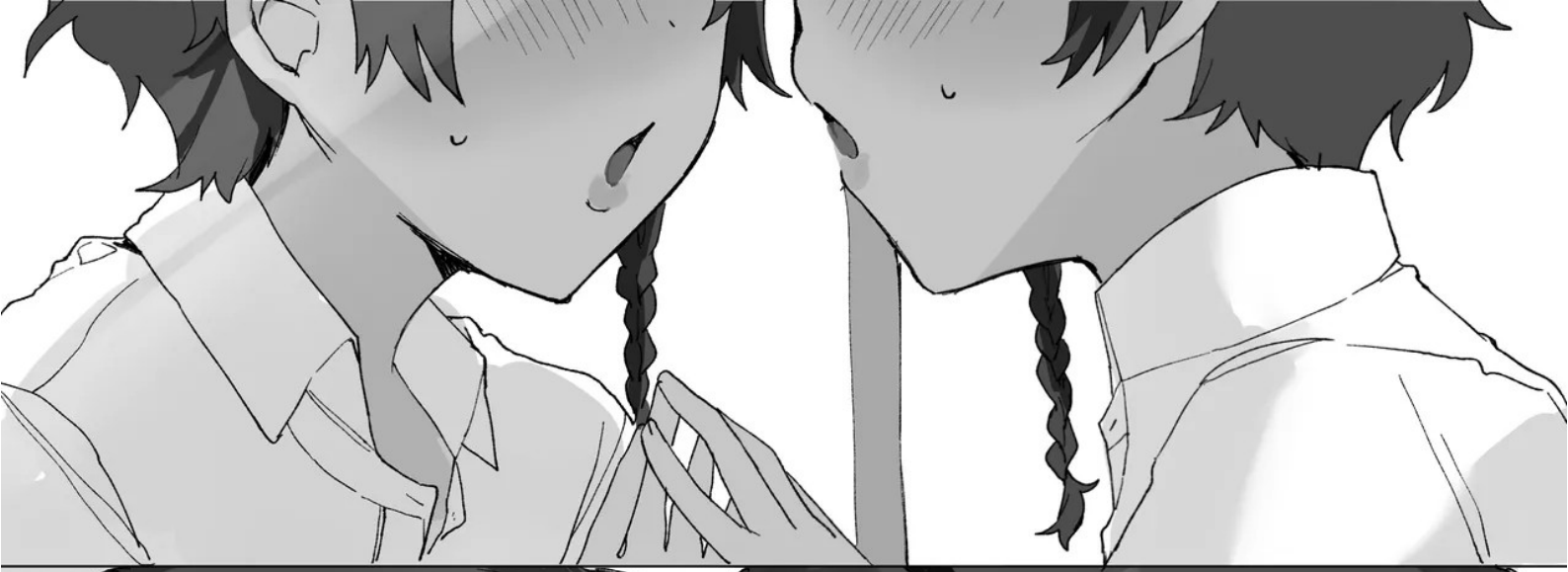




並行世界にいる  
女の自分と入れ替わって、  
同じになつて

R-18

















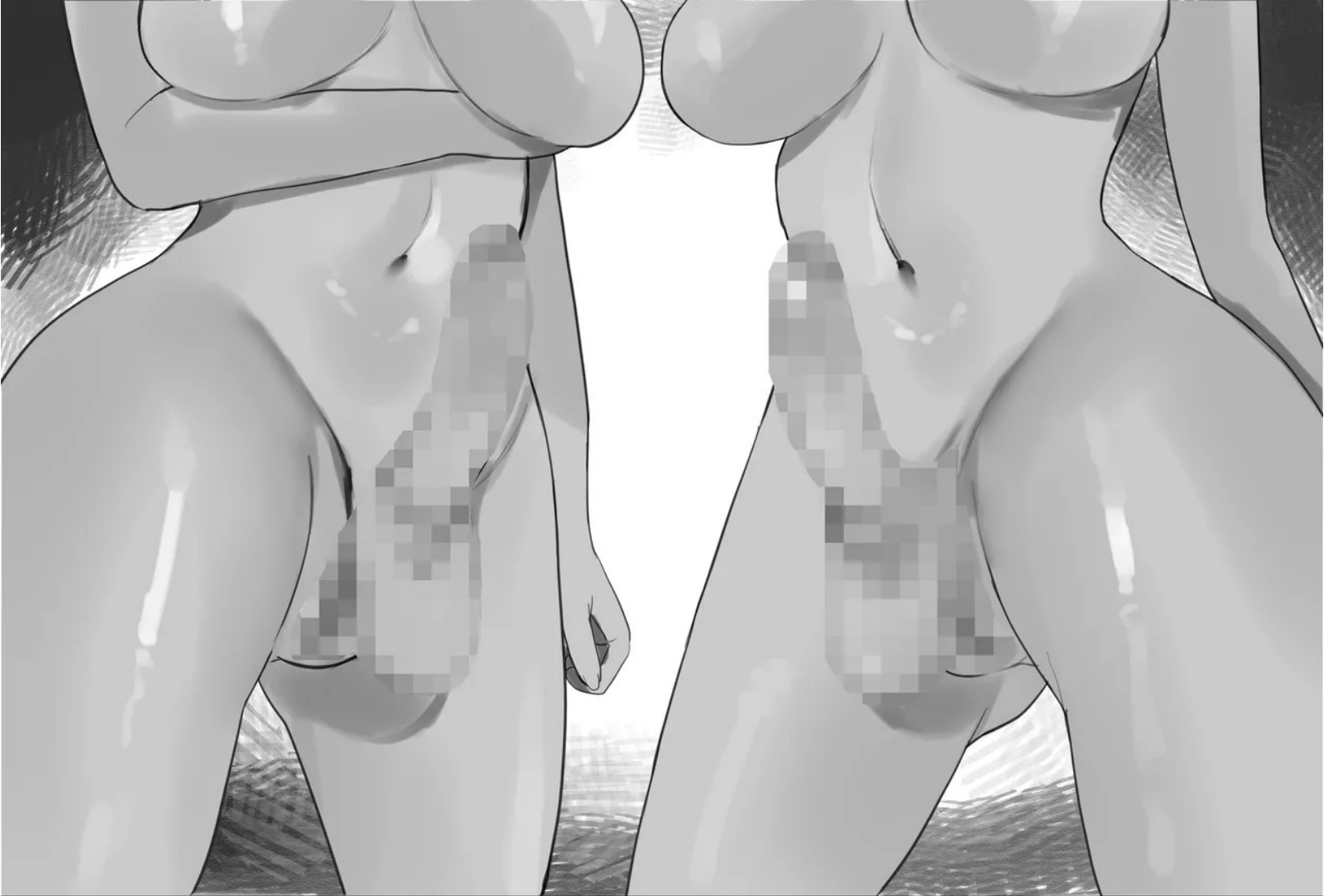
































後書き

この度は、『並行世界にいる男の自分×女の自分』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
絵師様は、朽様のお力添えにより本作の完成と繋がりました。  
前作同様、今作もご協力を頂きまして本当にありがとうございます。

本作は、同一CP×女体化×男体化×入れ替わりという一兵卒が好きな特殊なものとなっています。  
褐色肌な男の娘が主人公です。

そういったところからも楽しんでいただければと思います。

また、今回は差分もつけましたので、朽様のイラストとしても楽しんでほしいです。

改めまして、

今回の制作に携わってくださった絵師様である、朽様

購入を頂いた方、FANBOXで支援を頂いている方、応援を頂いている方  
全ての方に感謝します。

本当にありがとうございました。

一兵卒

本作品のイラストを担当させていただきました朽と申します。

この度は本作品をご購入いただき誠にありがとうございます。

前作に続き、再び私を起用していただいた事、感謝しかありません。

一兵卒先生の書かれる淫靡な世界を、私の絵で少しでも表現できていれば幸いです。

自分の愛らしさに自分自身が溺れていく淫らなヒロインをご堪能ください。  
ありがとうございます。

朽

奥付き

作品名：『並行世界にいる女の自分と入れ替わって、同じになって』

企画：一兵卒

発行日：2023年12月

一兵卒

twitter <https://twitter.com/crossfire0720>

pixiv <https://www.pixiv.net/users/1422718>

FANBOX <https://crossfire0720.fanbox.cc/>

注意事項

※18歳未満の方は閲覧しないでください

本作品内の画像を無断で

使用・転載することを禁止致します

Title: "Switching and Becoming the Same Female Self in a Parallel World

Planning: Ippongi

Publication date: December 2023

Ichibei Sotsugyo

twitter <https://twitter.com/crossfire0720>

pixiv <https://www.pixiv.net/users/1422718>

FANBOX <https://crossfire0720.fanbox.cc/>

Precautions

Please do not view this work if you are under 18 years old.

Unauthorized use or reproduction of the images in this work is prohibited.

Use or reproduction of the images in this work without permission is prohibited.

